

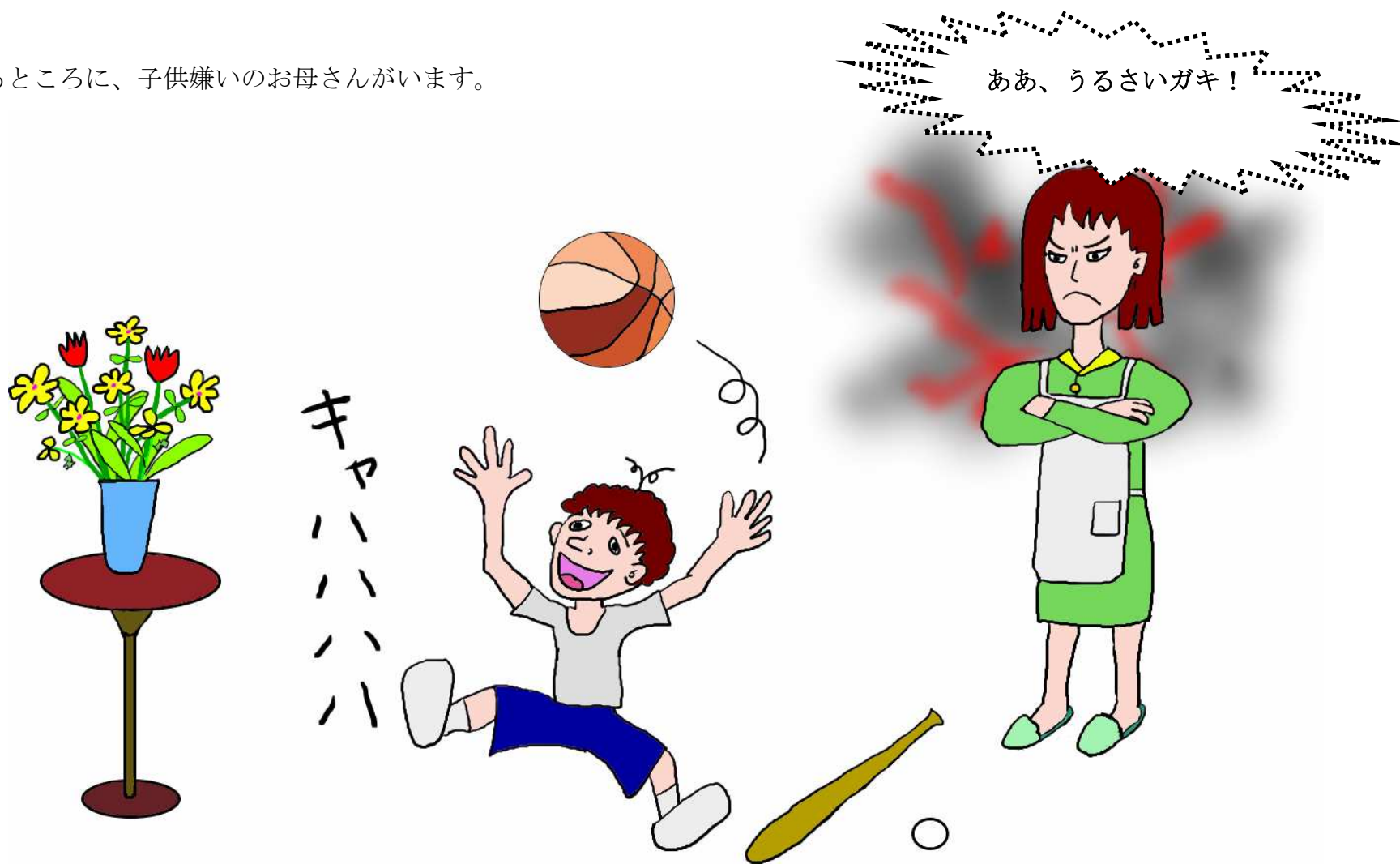
子供を愛しなさい！

—幼児虐待の原因と心理—



東郷 潤

あるところに、子供嫌いのお母さんがいます。



でも、母親たるもの、子供を愛さなければいけません。母親が子供を愛さないなんて、決して許されることではありません。それは、とても悪いことなのです！

そこでお母さんは何が何でも子供を愛そうと、一生懸命、努力することとしました。

ああ、どうすれば、このクソ
ガキを、愛せるんだろう？



ためしに、お母さんは、子供を自分好みの姿に、変えてみることにしました。



ちょっと、動かないで！

頭に花飾りをつけて、子供の顔を微笑ませたのです。



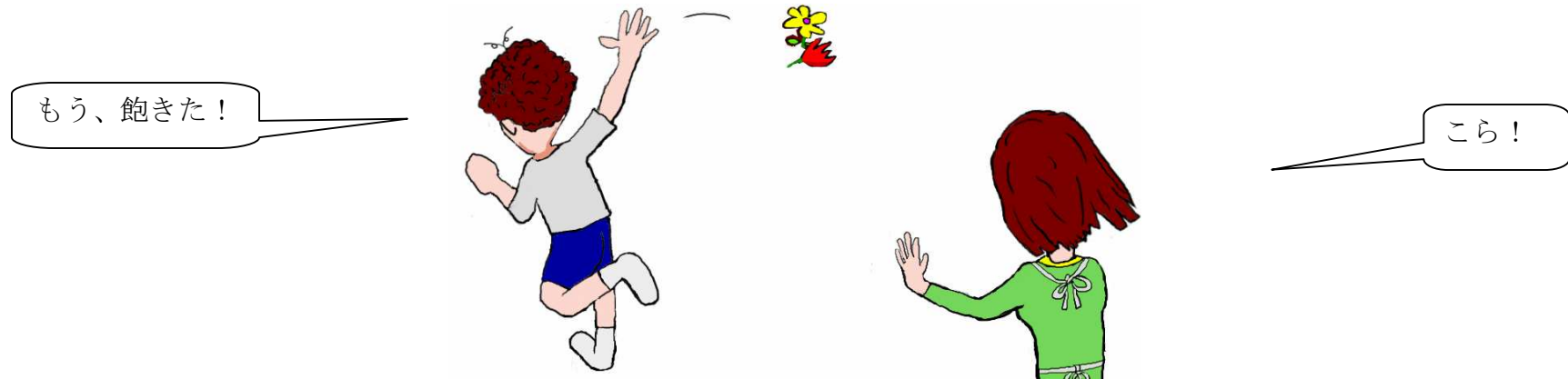
このまま笑っているのよ

すると、どうでしょう？ 子供が、どんどん可愛く、素敵に見えて来たのです！



これなら、愛すことは簡単です！ お母さんは、ほっとしました。

あれ、子供が動いてしまいました。・・・そしたら、花も微笑みも無くなりました。

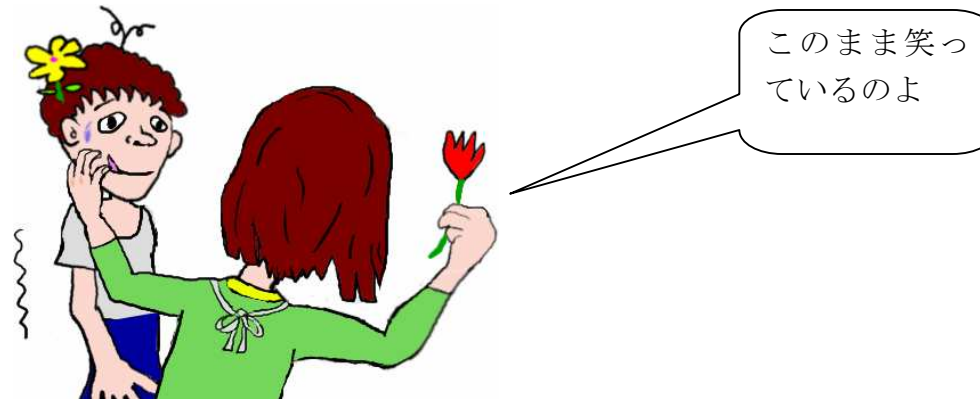


まあ大変！ これじゃ、もう愛せません。愛せなければ、悪い母親になっちゃいます。



お母さんは、子供を怖い顔でにらみつけました。すると、子供は怯えて動かなくなりました。

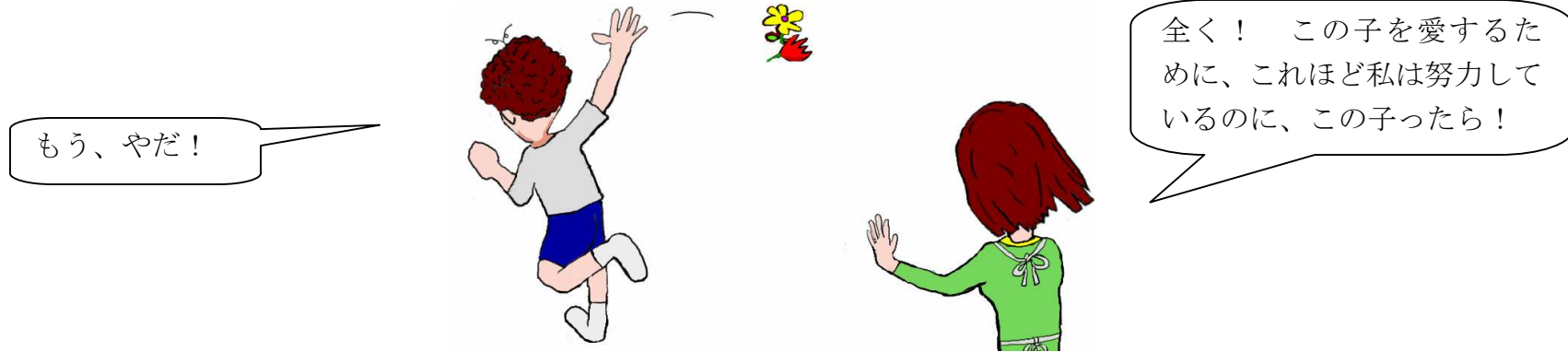
さあ、もう一回。 ほら、頭に花飾りをつけて。微笑みをつけて。



そしたら、どんどん可愛く、素敵に見えてきました。さあ、これなら、愛すことは簡単です！ お母さんは、ほっとしました。



あれ、また子供が動いてしまいました。花も微笑みも取れちゃったのです。

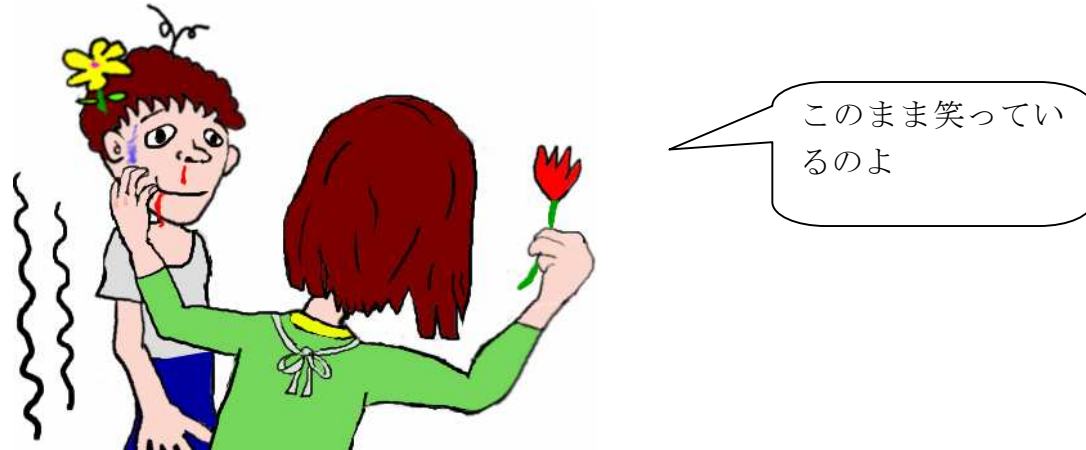


大変！ これじゃ、もう愛せません。愛せなければ、悪い母親になっちゃいます。



子供は怯えて、動かなくなりました。

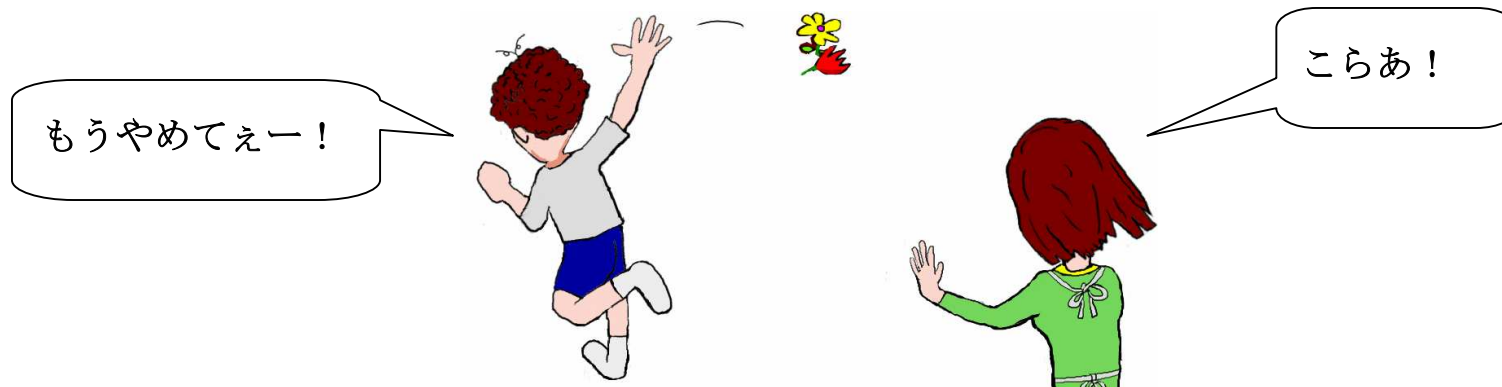
ほら、頭に花飾りをつけて。子供の顔を微笑ませて。



そしたら、どんどん可愛く、素敵に見えてきました。さあこれなら、愛すことは簡単です！ お母さんは、ほっとしました。



あれ、また子供が動いてしまいました。花も微笑みも取れちゃったのです。



大変！ これじゃ、もう愛せません。愛せなければ、悪人になっちゃいます。



子供は怯えて、動かなくなりました。

…こうしてお母さんは、子供を脅し、殴り、傷つけ続けたのです。



ねえ、お母さん。この誤解は世界中の人たちがしています。だからあなたも、子供を一生懸命、愛そうとしているだけだと、きっと信じているのでしょう。でもね、愛を無理に作り出すことなど人間には出来ません。たとえそれが実の母と子であったとしても。



どうか愛を命令しないで！

**愛は生まれず、
何か別のものが生まれちゃうから。**



あとがき 一絵本「子供を愛しなさい」

愛を巡っては、大きな誤解／錯覚が存在するようです。

そして、この誤解は善悪の錯覚とも有機的に結合し、人類の長い歴史の中で、様々な悲劇をもたらして来たと考えられることが出来ます。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、ご紹介していただければとお願いいたします。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることが出来ます。

www.j15.org

©Jun Togo 2009